

昭和区平和行進に参加して

6月7日、2026年度も千羽鶴と元気良く歩きました。

10:15隼人池公園で出発集会を行いました。降り始めた雨も何のその！我らはカップを着込み、メッセージの横断幕を掲げました。

そうそう！平和美術展でみんなで作成させた共同作品「大きな魚に立ち向かう『小さなさかなたち』」の知恵と勇気も一緒です。

川名のお店の大将と女将さんがお店の前で手を振って下さいました。御器所では、新婦人のお二人の掛け合いがあり、楽しい中にもピリッとスパイスが効いてました。歌あり、ピースコールあり、鳴り物あり！

「黙ってないで！」「戦争嫌だ！」私たちにできること、声を上げることの大切さを感じた平和行進でした。90名の皆で歩いて楽しかったです。

(会員 ○)



第20回 昭和区平和のつどい

つなげよう！

いまこそ 平和な未来を 私たちの手で

日時：2026年11月7日(土)

会場：岡谷鋼機名古屋公会堂 4階ホール

講演講師：サヘル・ローズさんに決定!!

サヘル・ローズさんは、イラン出身の俳優であると同時に、世界中を旅しながら子どもたちの支援活動を行っています。2020年にはアメリカで人権活動家賞を受賞。



他にも「平和」を感じ、遊んで、食べて、考える企画を準備中です!

世話人会

7月16日(木)、8月20日(木)19時～20時半

高齢者就業支援センター4階(予定)

※会員の方は、どなたでも参加できます!

【編集後記】 今年の「昭和区平和のつどい」は20回目を迎えます。今まで以上に多くの人に参加してもらえるつどいにするべく実行委員会で熱く検討中です。毎月の実行委員会に集まるメンバーは、昭和区九条の会会員だけでなく、他の九条の会メンバーや、保育園、子ども食堂、自立支援団体の関係者など。そして今年、海外の被災者救援をしているグループからの仲間が増えました。今の政治、暮らしはますます平和からかけ離れ、不安が大きくなるばかり。平和のつどいは、楽しく、勇気を得られるものでなければ! ぜひ、11月7日(土)は「昭和区平和のつどい」にお越しください。(○)

原水爆禁止世界大会リモート視聴会にご参加を

昭和区平和行進実行委員会では、今年も、原水爆禁止世界大会リモート視聴会を企画します。ぜひご参加ください。

今年は、8月9日が日曜日に当たるので、ナガサキデー大会をリモート視聴します。詳細は決まり次第SNSなどでお知らせします。

国連事務総長からのメッセージや、多くのゲストのトーク、核廃絶は今世界の大きな潮流になりつつあることを実感できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

日時：2026/8/9(日)10:30～13:00

場所：未定

会費：2,000円程度



九条の会スーパー前宣伝&署名

・7月 9日(木) スーパーヤマナカ前 10:30～11:00

・7月16日(木) 桜山交差点 12:00～12:30

・7月21日(火) 興正寺マルシェ 10:30～11:00

・7月29日(水) 御器所交差点 12:00～12:30

・8月 9日(日) 八事イオン前 10:30～11:00

・8月16日(日) 桜山交差点 12:00～12:30

・8月21日(金) 興正寺マルシェ 10:30～11:00

※8月29日(土)は、九条の会総会のため中止とします

※雨天時及び熱中症警戒アラートが発せられた時は中止とします。

「何でも語ろう会」

会 場:昭和区長池町3-27 深田荘101号室
連絡先:「天元」鈴木さん(090-9170-5569)P有
参加費:1回300円/人

(どなたでも参加できます)

日 時:毎月第1・3土 午前10時～11時45分
7/4(土)、7/18(土)、8/1(土)、8/22(土)

昭和区 九条の会たより

〒466-0006 昭和区北山町3-28アイレック北山101 fax:741-3558 tel:090-3153-7855 (馬淵)

2026年期 総会案内 『今、憲法9条が危ない!』

政権与党は、憲法9条改定に向けて、来年に国民投票を実施したい意向です。この情勢に対して、総会では、憲法学者で昭和区九条の会代表世話人の小林 武さんに講演をしていただき、戦争につながる憲法改定をどう阻止できるか話し合います。そして、この1年間のまとめとこれからの方針を討議します。是非、会員の皆さんの参加をお願いいたします。併せて、年会費(500円)の納入を総会までをめどにお願いします。

世話人の皆さんには、お世話になります。よろしくお願いします。

・日時：2026年8月29日(土) 午前9時30分～12時00分

・会場：昭和生涯学習センター 視聴覚室 昭和区石仏町1-48 Tel. 052-852-1144

・内容：講演：憲法学者(昭和区九条の会代表世話人) 小林 武さん

テーマ「憲法の大切さと憲法改定の危うさ」

議案：活動のまとめ、方針、会計報告など

◇同封の署名用紙にご協力下さい◇

「私たちは戦争につながる憲法改悪に反対しますー憲法9条改悪に反対する請願署名ー」

ご記入後、地域の世話人さんにお渡しいただくか、次の電話番号までご連絡願います。Tel.090-3153-7855

ペンライトデモ「声上げるのは今!」

一人スタンディングで始まったデモが3月8日国会前デモに8,000人集まり全国的にデモが広がる。高市首相による憲法改悪や戦争への不安が特に若い人たちを焚きつけた。0419国会前デモは36,000人、全国で51,000人以上参加、名古屋は幅広い年代の男女がプラカードやペンライトもち800人。改憲反対、戦争反対の高速コール、名古屋弁コール、飛び入りスピーチ、ええじゃないかコールで最高潮。スピーチもスタッフも女性たちが煌めく。なぜか女性が危険予知能力が高いのか、あのさまざまな場面で嘘を重ねている人物が総理大臣なのが許せないのか、大切な人を戦場に送りたくないデモに集まってくる。自分も3月からXの情報で「行動しなければならぬのは今だ」ともう10回以上デモに参加している。



(鶴舞学区会員 H)

初夏の風 平和を願う 美術展 あき子（かわな句会選）

第17回昭和区平和美術展は127点の作品、平和の句を添える大きな大津絵、東邦高校平和実行委員会制作の絵本「おかちゃんとピース！」の原画と動画等、多彩な企画で鑑賞者762人を迎えました。そして、美術展最終日には参加者みんなで創る共同作品「大きな魚に立ち向かう『小さなさかなたち』の勇気と知恵」も完成！！

会場には「それぞれの平和」を考える「大事な時」が流れていました。

作品の一部と来場者の声をご紹介します。

9条はなにがなんでも守り抜かねばなりません。平和あっての一日、平和あっての今の生活ですね。

色々な立場の人が自由に作品で表現できる場はとても素敵でした。

9条が80年の平和を守り続けたのは間違いない。「反対」「護憲」と言うだけでなく実際に平和を守っている例を挙げて説得することにも努めたい。



どんな作品にも思いがこもっていますね。こんなに自由に何でも、いつの作品でも出展できるということに驚きました。来て良かったです。

続けていらっしゃることが本当にすごいことだと思います！来年は出展したいです。

俳句コーナー、手づくりコーナー等有り、工夫されていて良かった。



2026.5.3(日) 憲法施行79周年記念市民のつどいに参加して

名古屋市公会堂に1700名（web視聴100名）と大勢の方が集まりました。国際情勢が不安定な上、高市首相が積極的に改憲を口にするので危険を感じる人が多かったんだと思います。

日本は先の大戦でアジア諸国を中心に2000万人の命を奪い、国内だけでも310万人以上が命を失いました。

2度と戦争をしてはいけないうと強く反省をして日本国憲法ができました。絶対に憲法は守らなくてはいけないと思います。

元NHKディレクター大森淳郎さんは戦時中のラジオ放送についてお話をされました。国策に沿った報道、事実とは違う戦況を国民に伝えるのが当たり前になっていく様子を具体例を示しながら話して下さいました。又政府にとって不都合な原稿や音源は戦後全部焼かれてしまったと聞いて驚きました。

政府は国民から真実を知る権利を奪ったのです。

今、メディアは大丈夫でしょうか？

政府に忖度せず真実を伝えているか注視が必要です。

林家三平さんは国策落語を演じられましたが父親の初代三平さんは特攻隊員でした。三平さんは言います。『父は死を覚悟して過ごしながら一度は気持ちの中で死んだんだと思います。母親は戦災孤児でした。両親共に過酷な体験をしています私は今平和に暮らしています。』

それもこれも憲法9条のお陰です。9条は絶対守らなくてはいけないと思います』

今はまだ自由にものが言えます。

『私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します』と堂々と訴えていきたいです。

（会員 N）



「平和がいいな昭和区の会」自主映画上映会 『アナウンサーたちの戦争』を鑑賞して

「平和がいいな昭和区の会」の自主上映シリーズ、4月に行われたのは、NHKの制作した「劇場版アナウンサーたちの戦争」でした。会場は200人に迫る来場者で熱い上映会になりました。

この作品は、実在の人物が書き残した手記など膨大な資料をもとに制作され、2023年にNHKスペシャルで90分放映された同名のドラマを、2024年8月に劇場版として120分に再編集したものです。

主人公は、戦前からスポーツ中継から朗読、ニュースまで多彩にこなし、日本放送協会きっての「不世出の天才」と呼ばれた和田信賢アナ（森田剛）。彼は技術の高さだけでなく「望遠鏡で観察し、顕微鏡で語る」をモットーに、取材対象に深く寄り添い、秘められた心情をアナウンスに載せることによって聞く者の胸を打つ型破りの放送を送り出していた。

しかし戦争の中で仕事として彼に求められるものは、国威高揚であり、お国のために死ぬことを奨励する行為であり、戦況の嘘であり、徐々に信



念との矛盾が広がっていく。

その苦悩と葛藤がピークに達するのが、学徒出陣式の中継に臨む場面だ（写真）。

学生たちと酒を酌み交わし、隠された本音を聞き出す取材を重ねて仕事に臨んだ彼にとって、それは、あまりにも過酷な現場だった。ついに彼は、マイクを放棄し、のた打ち回り、嘔吐する。

終戦となり、玉音放送を担当し終えた彼は、やっと苦悩に満ちた仕事から解放されたように思われた。だが人気アナウンサーの業(ごう)とでもいうべき宿命を思い知らされる衝撃のラストシーンが待っている――。

今に通じる放送の現場の苦悩・葛藤を知って欲しい、そして同じ過ちを繰り返さないで欲しいという制作者の熱い思いが伝わる作品でした。

90分のNHKスペシャルはNHKオンデマンドで220円でいつでも視聴可能です。ぜひ若い人に見てもらいたいと思います。（松栄学区 S）

かわな句会選

平和の俳句

戦禍の地 想いを馳せて 草を引く 素子
おかちゃんのバトン受け継ぐ 高校生 久子